



開物成務

令和5年 6月1日(木)発行

校長 津田 千由美

人とのつながりの中で

こここのころの暖かさのせいでしょうか、開成町役場の青色あじさいが最盛期を迎えています。例年よりも2~3月の気温が低かったということで、今年のおあじさいまつりは6月10日からだそうです。その頃にはきっと、色鮮やかなあじさいが見られることでしょう。今から楽しみです。

3年生が総合的な学習の時間に、「開成町とおあじさい」について学習しています。先日は、産業振興課の方をゲストティーチャーに迎え、

「昭和58年に始まったあじさいまつり、今では5,000株も植えられていること」

「あじさいの里は、東京ドーム

3.6個分もの広さがあること」

「まつり期間中には、なんと20

万人もの観光客が訪れること」

等々、開成町とおあじさいの関係について、たくさんのお話を教えていただきました。

「開成町ってすごい！」

子どもたちからそんな声が聞こえてきます。

コロナが落ち着き、いろいろな教育活動が再開され、学年間の交流も増えています。人とのつながりの中で学習が深まっていくことに喜びを感じている今日この頃です。



その後、学校クイズを行い、全校で盛り上がりました。1~6年生全員がこうして一堂に会し、楽しくふれあうことができるのは本当に久しぶりです。同じ空間で楽しい時間を共有することで、互いの距離感がより一層近くなりました。

委員会紹介集会

5月23日(火)朝の時間をつかって、全校リモート集会を行いました。この集会のテーマは、委員会の紹介です。

「全校に音楽を届けて、音楽が好きになってほしいと思います」

「企画委員会の目標は、みんな仲良く元気に遊べることです。すてきさんを増やしましょう」

こんな具合に、各委員会の委員長さんが全校におかれて、メッセージを伝えました。教室で視聴していた1年生にも、委員長さんたちの話が伝わったのでしょうか。最後には自然と拍手が起こっていました。

また、5月25日(木)の昼休みには第2回代表委員会が開かれ、今年度の子どもたちの学校目標が決まりました。

『明るく、やさしく、元気よく、

助け合うすてきさんいっばいの開成小学校』

各学級の話し合いで決まったことをもとに企画委員会が提案し、了承されました。とてもすてきなスローガンです。5・6年生のリーダーシップのもと、目標に向かって少しずつ歩みを進めていきたいと思っています。

1年生おめでとう集会

5月30日(火)、1年生おめでとう集会が行われました。1年生は、6年生に手を引かれながら、満面の笑みで体育館へ入場しました。

プログラムの中に、「1年生へインタビュー」という場面がありました。好きなことに関する質問に対して、「給食」「体育」「うんてい」などと答えていました。



入学式からおよそ2か月。1年生はすっかり小学校生活に慣れ、楽しんでいる様子が伝わってきました。

5月22日(月)から、水泳の学習が始まりました。コロナ禍のため、4年ぶりの水泳となります。

開成小学校は、南足柄市の体育センターのプールを借用するため、天候や気温に左右されず実施することが最大の利点です。

月曜日の子どもたちは朝からルンルン気分。これまでプールに入れなかった3年間分を取り戻すかのように、水の中で大はしゃぎです。

久しぶりの水泳ですから、多くの保護者ボランティアさんにもご協力いただきながら、子どもたちの安全を第一に指導にあたります。

子ども自転車運転免許講習

5月25日(木)2~3校時、4年生が総合の時間に、自転車の乗り方について学びました。開成町は以前から交通安全教育に力を入れており、今年度も開成町防災安全課、松田警察署、交通指導隊の方々にお越しいただきました。

この学習の最大の目的は、「交通ルールを正しく理解し、交通事故にあわないように自分の命は自分で守れるようにすること」です。

実際の道路を想定し、自転車の発進の仕方や信号機のある交差点の渡り方、道路に障害物があった場合の通り方などを、子どもたち一人ひとりに対して丁寧に指導してくださいました。

6月は1年の中でも特に小学生の交通事故が多くなる時期だそうです。今回の学びをぜひ実生活でも生かしてください。

また、身体に合ったヘルメットの装着もお忘れなく…。



リコーダー講習会

5月25日(木)5校時、3年生が音楽の時間に、リコーダー講習会を行いました。ソプラノリコーダーは、3年生になって初めて扱う楽器です。その導入として、大村楽器さんから講師をお招きし、吹き方や使い方などについて教えていただきました。

「リコーダーは、吹くものでもないし、口にくわえるものでもありません」

冒頭、講師の方からこんな話があり、子どもたちからは「えー!!」と、どよめきが…。

「私がリコーダーの模範演奏をしますので、口元をよく見ていてください」

体育館中に響く素敵な音色を聞きながら、体験を通して、リコーダーの正しい吹き方を学びました。

授業の最後には子どもたちも素敵な音色を響かせることができました。



休み時間に学校中の廊下をせっせと拭き掃除をしてくれる子どもたちがいます。玄関の掃除をしてくれる子どもたちもいます。

「休み時間なのに、どうしてお掃除をしてくれるの?」

聞くと、「きれいになると気持ちいいから」「みんなが喜んでくれると、自分も嬉しいから。」と…。私は、子どもたちから、たくさんの幸せをもらっています。

ラジオでこんな話を聴きました。

「幸せ」には二通りある。誰かに自分が「してもらう幸せ」、自分が誰かに「してあげる幸せ」。「してあげる幸せ」を豊かにしていきましよう。なぜなら、「してあげる幸せ」を感じ

られるようになる、人生は前向きになるから。

「してあげる幸せ」とは、お友達に何かをしてあげる、家族のために何かをやってあげる、などです。やってあげた人達が喜ぶ、喜ぶ顔を見ると「やってよかった」と自分も幸せな気持ちになる。好循環が生まれます。しかし、人から「あなた自身の幸せのために誰かに何かをしてあげなさい」「友達に優しくしてあげなさい」と言われたところで、「うん、今日から実行しよう」とは、おそらくならないでしょう。

これも以前聞いた話です。幸せには三つあるというのです。

一番めは「してもらう幸せ」。おなかがすいたらミルクをもらう、眠くなったら抱っこしてもらおう。赤ちゃん時代は、まさに「してもらう幸せ」ばかりです。

二番めは「できる幸せ」。自分で箸をもって食べられるようになる、学校でかけ算ができるようになる、漢字が書けるようになる。集団生活が始まると「できる幸せ」が一つずつ増えていきます。

そして、三番めが「してあげる幸せ」です。

「してもらう幸せ」を十分に経験し、「できる幸せ」が積み上がることで他者の気持ちに寄り添う素地が育まれます。そうすると、「だれかのために何かをしてあげよう」という気持ち自ずと芽生えます。つまり、幼少期には、「してもらう幸せ」と「できる幸せ」を十分に堪能させる必要があります。

さて、私たち大人は、「してあげる幸せ」を感じられているでしょうか。

わたしのひとりごと…

